

宇宙飛行士のメンタルケア

- 宇宙飛行士の特徴
- 「目立ちたがり屋は不適切」
- 「沈着冷静」
- 「淡々としている」
- 宇宙飛行士：医師が多い
- 金井宣茂：海上自衛隊医官（潜水医学）
- 女性宇宙飛行士：
- 向井千秋：心臓外科医

潜水艦乗組員のメンタルケア

- 特別な訓練を受けている
- 高いプライド、沈着冷静
- 目立ちたがりは不可
- 潜水訓練中のパニック: 急浮上して潜水病になる危険。急性減圧症候群
- 一般ダイビングの事故
- 症状: 関節痛・筋肉痛・呼吸器系・神経系異常
- 後遺症の危険
- 治療法: 高圧酸素療法、補助として鍼治療

統合失調症症例報告

- 「漢方研究」報告例 :
- 80代女性 統合失調症
- 夫の死亡後、頭痛・妄想出現。近医で認知症と診断されたが、精神科では統合失調症にて入退院を繰り返す、向精神薬リスペリドンなどの副作用で困っていた。
- 家族が東洋医学的治療を薦めて受診。
- 東洋医学的治療：漢方薬：甘麦大棗湯
- 鍼治療：頸肩筋痛
- 服薬一週間後で頭痛・幻聴軽減、徐々に落ち着き、向精神薬を減量して、漢方薬・鍼治療のみで安定。

症例 うつ状態・うつ病

- 1) 公務員の転勤による「うつ」
- 2) 拒食症合併の「うつ」
- 3) 職場環境(業務内容・人間関係など)による「うつ」(産業医)
- 4) 自殺願望の「うつ」
- 5) 癌患者と家族の「うつ」
- 6) 高齢者の「うつ」

メンタルケアを要する患者の 周辺身体的症状

- 1) 肩凝り・頸肩筋痛
- 2) 頭痛・後頭部痛・頭重感
- 3) 腰背部痛
- 4) 食欲増減
- 5) 疲労倦怠感
- 6) 消化器症状(嘔気・嘔吐・胸やけ・便通不調)
- 7) 知覚異常

ま と め

- メンタルケア対策には、未病の段階から、
- 東洋医学的対応（漢方薬・鍼灸）する事で、病態の悪化や進行の予防のために、経済的・安全で有意義な手段と推奨される。